

「サステナビリティ推進委員会」の設置について

株式会社ベネッセホールディングスは、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを、グループ全体で強化することを目的とし、このたび「サステナビリティ推進委員会」を設置しました。

2015年9月、国連は地球規模で直面する環境や社会課題の解決に向けて、2030年をゴールにした世界共通の「持続可能な開発目標 SDGs (Sustainable Development Goals)」を掲げました。また、企業の長期的な成長にはESG(環境、社会、ガバナンス)の観点ますます重要となっています。

ベネッセグループは、「Benesse=よく生きる」の企業理念のもと、お客さまの向上意欲と課題解決を一生涯にわたって支援する企業グループとして、創業以来60年以上にわたり「教育」や「介護」の分野を中心に、社会課題の解決に取り組んでまいりました。ベネッセの企業理念や理念に基づいた活動は、SDGsの精神と根底で合致しています。今回、「サステナビリティ推進委員会」を設置することで、改めてグループ全体のサステナビリティ方針を明確化するとともに、取り組むべき社会課題や重点分野を明らかにし、グループ全体での活動を強化、拡大してまいります。

サステナビリティ委員会では代表取締役社長の安達保が委員長となり、常勤取締役が委員となって、事業と一体となった活動を推進します。

ベネッセは持続可能な社会の実現に向けグループ一丸となった取り組みを進めるとともに、お客様や社会の「よく生きる」の実現に向けて、挑戦を続けてまいります。

【体制図】

